

	石炭夫	火夫見習	料理人	船主人見習	給仕	給仕見習	計
一						×	一
二						×	二
三	三						三
四		×六					四
五					×		五
六	一四	×一四			×		六
七	×六					×	七
八						×	八
九	×四	×二二			×		九
一〇							一〇
一一						×	一一
一二						×	一二
一三						×	一三
一四							一四
一五						×	一五
一六						×	一六
一七						×	一七
一八						×	一八
一九						×	一九
二〇						×	二〇
二一						×	二一
二二						×	二二
二三						×	二三
二四						×	二四
二五						×	二五
二六						×	二六
二七						×	二七
二八						×	二八
二九						×	二九
三〇						×	三〇
三一						×	三一
三二						×	三二
三三						×	三三
三四						×	三四
三五						×	三五
三六						×	三六
三七						×	三七
三八						×	三八
三九						×	三九
四〇						×	四〇
四一						×	四一
四二						×	四二
四三						×	四三
四四						×	四四
四五						×	四五
四六						×	四六
四七						×	四七
四八						×	四八
四九						×	四九
五〇						×	五〇
五一						×	五一
五二						×	五二

(註) 数字ノ總額數ニ千噸以上ノ船乗員者、×印ノ總額數ニ千噸未満ノ船乗員者

次ニ日本海員救済會ノ調査ニ依レバ最近三箇年間ニ同會ニ於テ媒介乗船セシ  
ノタル機關部海員二萬三千三百三十人中十八歳未満ノ者ノ全員ニ對スル割合  
ハ次表ノ如ク大正七年ニ於テ九厘、大正九年ニ於テ一割二歩ナリ

自大正七年 至大正九年 日本海員救済會媒介機關部海員數

(大正十年四月同會調査資料ニ據リ作表)

十八歳未満ノ者	十八歳以上ノ者	合計	割合
大正七年	六六	二九八	二二
大正八年	五〇	二二二	二二
大正九年	五、九一八	二、四七三	二二
大正七年	五、九一八	二、四七三	二二
大正八年	五、六四二	二、五八五	二二
大正九年	四、〇三八	一、五二九	二二
合計	一六、一九四	七、一三六	二二

十八歳未満ノ者ノ全員ニ對スル割合 大正七年 〇、〇〇九 大正八年 〇、〇三五 大正九年 〇、一二一

右表ガ毎年幼年海員數ノ割合激増シ大正九年度ニ於テ一割以上ヲ示セルハ  
恐ラク日本海員救済會ガ大正七年四月横濱ニ、又大正八年十月大阪ニ夫々普  
通海員養成所ヲ設置シ幼年海員志望者ヲ收容シ短期間ノ養成ヲ爲シ之ヲ媒介  
シ初メタル特殊ノ事情ニ因ルモノナルベシ。以上ノ資料ニ依ツテ之ヲ推斷ス  
ルニ現在本邦船舶ノ機關部員中十八歳未満ノ幼年者ノ現在員數ハ大體ニ於  
テ其總數ノ三歩乃至一割ニシテ普通五歩内外ナリトシテ差支ナキヲ知ルニ足  
ルベシ。サレバ此ノ十八歳未満ノ者ヲ火夫、石炭夫ニ採用スルコトヲ禁止ス  
トモ船主ノ蒙ル不便ハ左迄大ナラザルベシ。